

未来へつなぐ しが文化活動応援事業

事業番号0527-0032

共生のまち大津・演劇プロジェクト実行委員会

代表者 小石 哲也

共生のまち大津・演劇プロジェクト

障害者自らが舞台に立ち、表現する「劇団まちプロ一座」と市民劇団「グループ橋」で協力し、演劇公演を行うことで、障害のあるなしを問わず、表現する行為に違いはないことを示し、異文化や多文化、共生と平和を楽しみながら、理解していく取り組みです。

今年度で5回目を迎えました。

が、今年度もコロナウィルス（COVID-19）の影響を本事業も受けました。

「劇団 まちプロ一座」の公演もイベント自体がなくなり、キャンセルに…。（お話はいただくのですが…。）

果たして、共生のまち大津・演劇プロジェクト 第5回公演」は行えるのだろうか？

と危惧したのですが、公益財団法人 びわ湖芸術文化財団による「未来へつなぐしが文化活動応援事業」（県による文化活動助成金制度）を昨年度に引き続き、応募しました。

補助金が交付され、公演における財政的な裏付けが得られ、感染対策として、客席数半減（スカイプラザ浜大津スタジオ1 定員122→61）、受付におけるアクリル板設置、舞台転換における客席消毒、体温測定等を行いました。

感染対策と公演（新作）の両立を目指す

・ 感染対策



・ 感染対策

舞台転換時における

客席等消毒。

観客誘導。

（密を避ける。）



チラシ

共生のまち大津・演劇プロジェクト 第5回公演

「劇団 15グローヴ」完全新作 オリジナル作品

2021年度
大津市パワーアップ
市民活動応援事業

紫の夜が明けると

11月13日 (土)
11月14日 (日)

土 13:00~17:00
日 13:00~17:00

【出演】

井上 みのり

杉川 由子

伴 好雄

小石 サヤ

杉本 わかこ

橋本 ありさ

林 理英

橋坂 厚子

山田 朝子

香田 勝

音楽 横田 明子

制作・演出 伊予

劇団 15グローヴ

When the purple night dawns

会場 スカイプラザ浜大津

料金：[入場料] 1,500円 (事前予約制、当日販売はございません)

主催：共生のまち大津・演劇プロジェクト実行委員会

後援：滋賀県・滋賀県教育委員会・大津市・大津市教育委員会

NHK 大津放送局・BBC びわ湖放送・朝日新聞大津総局・京都新聞

毎日新聞大津支局・読売新聞大津支局・産経新聞社・中日新聞社

特別協賛：大津県ロータリークラブ・近畿児童会連・(株) 滋賀日報自動車

(株) トヨタレンタリース滋賀・(株) 大生産業・(株) 松本製作所

お問い合わせ：大津市大津 5-6-8 TEL: 077-543-2844

mstaff@alpha.com.ne.jp

社会福祉法人 共生シンフォニー まちかどプロジェクト (土田・藤田)

京阪浜大津駅より徒歩1分、1~5階は浜大津公共駐車場。

6・7階はスカイプラザ浜大津。7階までお越しください。

*やむを得ない事情により、公演に変更が生じることがあります。



共生のまち大津・演劇プロジェクト 第5回公演
劇場からひろがる「心のバリアフリー」

2021年度
大津市パワーアップ
市民活動応援事業

グループ「橋」

給水塔

生きる場所を求めて さまよう者たちが

たどり着いたのは給水塔のうえだった。

そこは最高の場所だと思われたのだが・・・

<出演>

作・演出 くさかわ かつこ 演出 池田 健一
照明 坂本 幸子 谷田 昌雄
(Jelly Beans) くさかわ かつこ
音楽 黒田 治 藤本 富子
舞台監督 西川 健一 池田 敦子
(劇団あしたの会) 岩崎 厚子
岡田 尚子
(創造集団アノニム)
氏田 敦
(劇団冬芽舎)

2021年11月13日(土)・14日(日)

会場：スカイプラザ浜大津 7F

開演：15:30

入場料：1,500円

*観劇される方は、事前にご予約をお願い
します。当日入場はできません。

連絡先：Tel. 090 6554 1442 (宇川)

メール：tetuo.k@gmail.com

グループ「橋」のブログ

<http://dogwalk11.blogspot.com>

<感染予防のためお願い>

- 熱のある方(37.5℃以上)、体調の悪い方は観劇をお控えください。
- マスクを着用して、ご来場ください。
- やむを得ない事情により、公演に変更が生じることがあります。

主催：共生のまち大津・演劇プロジェクト実行委員会

後援：滋賀県・滋賀県教育委員会・大津市・大津市教育委員会

NHK 大津放送局・BBC びわ湖放送・朝日新聞大津総局

京都新聞・毎日新聞大津支局・読売新聞大津支局・産経新聞社

中日新聞社

2021年度大津市パワーアップ 市民活動応援事業

劇場からひろがる
心のバリアフリー

共生のまち大津・ 演劇プロジェクト 第5回公演

●劇団「まちブロー座」
「紫の夜が明けるとき」

●グループ「橋」
「給水塔」

2021年 11月13日(土) / 14日(日) (両日共)
13:30 まちブロー座・15:30 グループ「橋」

- 会場 / スカイプラザ大津7階 スタジオ1
- 主催 / 共生のまち大津・演劇プロジェクト実行委員会
- 後援 / 滋賀県・滋賀県教育委員会・大津市・大津市教育委員会
NHK大津放送局・NHKTV放送局・朝日新聞大津総局・京都新聞
産経新聞社・中日新聞社・毎日新聞大津支局・読売新聞大津支局
- 特別協賛 / 大津東ロータリークラブ・近畿労働金庫・(株)滋賀日産自動車
(株)トヨタレンタリース滋賀・(株)大生産業・(株)松永製作所

■お問合せ■
社会福祉法人 共生シンフォニー
 まちかどプロジェクト(上田・種田)
 大津市大萱 5-6-8 電話 077-543-2844
 Mail:m-staff@alpha.ocn.ne.jp

■感染予防のためのお願い■
 熱のある方(37.5℃以上)または体調の悪い方は観劇をお控え下さい。
 入場の際は、会場の高熱検温をご利用ください。
 会場内ではマスクの着用をお願いします。
 受付での検温のご協力をお願いします。

私たちも 「共生のまち大津・演劇プロジェクト」を 応援しています!

はたらくあなたへ、笑顔を届けに
R 近畿ろうきん
 近畿ろうきんFacebookページ
<https://www.facebook.com/kinokiroku/>
 りょうきんの活動はこちら!

2650 地区 Rotary
大津東ロータリークラブ
 〒520-0801 大津市御領町 23-1 6ヵ室1階
 大津東ロータリークラブ 事務室
 TEL.090-9374-7016
 Email:ovotagab@rotaryclub@gmail.com

住まいのトータルコーディネーター
株式会社 大生産業

ウェルキャブレンタカー
 (株)ウェルキャブ

 福祉車両のレンタルサービス
 0120-101-345

NISSAN **日産ライフケアビートル**
 福祉車両

 お車のことなら
 お気軽に
 ご相談ください

車の輪
 繋ぎのいす
MATSUNAGA

滋賀日産自動車

株式会社 松永製作所
 〒520-1276 滋賀県大津市大萱48-4
 TEL.064-26-1180 FAX.064-26-1270
 JH. http://www.matsunaga-m.co.jp

協賛、ありがとうございます!
 共生のまち大津・演劇プロジェクト実行委員会 一同

劇団「まちブロー座」

「紫の夜が明けるとき」

皆様、今日は劇場までお越しいただき、ありがとうございます。

今日という日を迎え入れられて、本当に胸いっぱいです。お越しになられたお客様はじめ、日頃から、「共生のまち大津・演劇プロジェクト実行委員会」を支えていただいている方々のおかげです。本当にありがとうございます。

さて、今年度、劇団まちブロー座の演目「紫の夜が明けるとき」は前作「秋の風は二度吹く」に続き、新作です。「秋の風は二度吹く」は脳梗塞で倒れた主人公が障がいを含め、自分自身を受け入れていくことをテーマとしていますが、「紫の夜が明けるとき」では、自分自身を受け入れた、その後を描いています。

当事者が日々、どのような生活を送っているのか、何を思い描いているのか、日常を追った作品です。

劇中では、ある出来事が起こります。それは登場人物の心に波紋を起こしていくのですが…。

ささやかな物語の終わりと始まりを一緒に見届けていただきますよう、お願いします。

共生のまち大津・演劇プロジェクト実行委員会 代表 小石哲也
劇団 まちブロー座 一同

■音響／横田 明子

■制作・演出・脚本／劇団まちブロー座

■出演／井上 みどり

北川 倫子
俣 好雄
小石 哲也
杉本 わかこん
橋本 あーさ
朴 理英
福坂 厚子
山崎 萌子
吉田 勝

グループ「橋」

「給水塔」

団地のなかにそびえ立つ給水塔。

ねぐらを求めて屋上にあらわれた三人。

そこは手足を伸ばして寝られる最高の場所だと思われたが、いつもと何か違っていった。

■制作・演出／くさかわ てつを

■照明／坂本 幸子 (Jelly Beans)

■音響／黒田 治

■舞台監督／西川 健一 (あしたの会)

■協力／インテリア高松

■出演／男1——渡辺 克己

男2——谷田 昌哉

男3——くさかわ てつを

おばあちゃん——藤本 富子

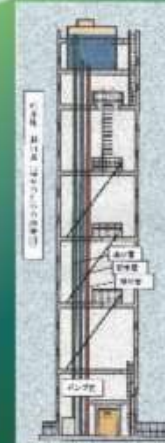
線を引く女——池浪 教子

作業員・他——氏田 敦 (劇団まき)

保安隊長・他——岡田 尚丈 (劇団まきアノム)

保安隊長・他——岩崎 厚子

少女の声——RION



「劇団 まちプロ一座」

新作

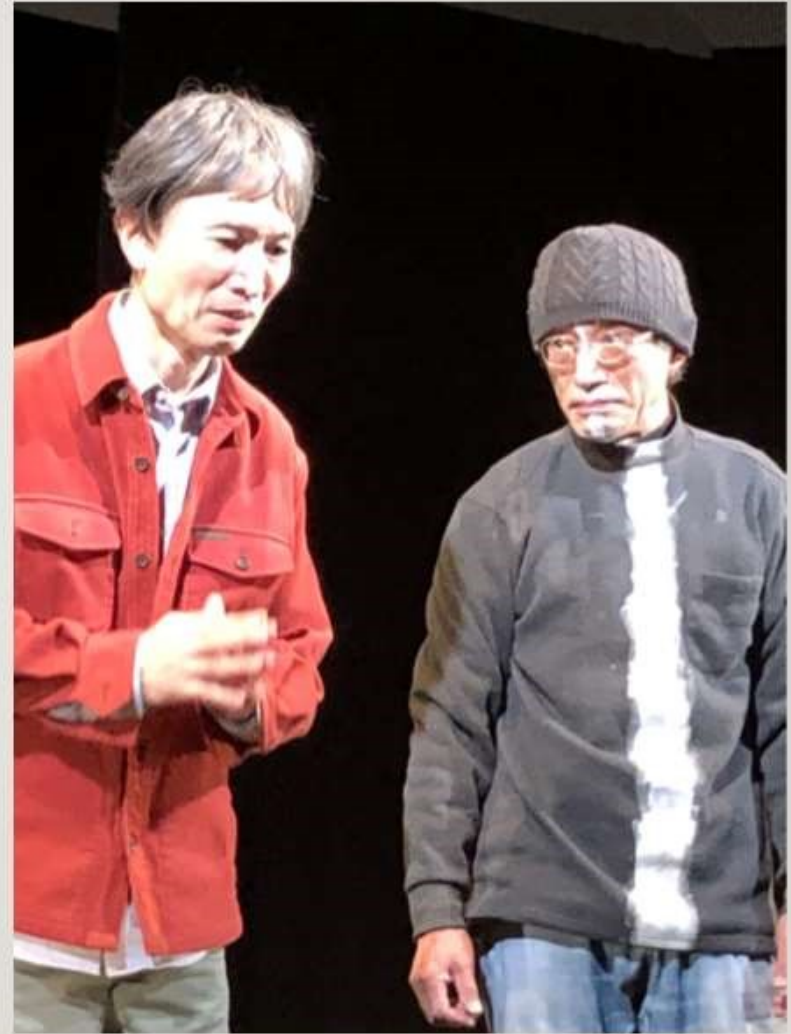
『紫の夜が明けるとき』



グループ「橋」

新作

『給水塔』



感想①

| | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 13日 | <input type="checkbox"/> 14日 |
| <input type="checkbox"/> 劇団「まちプロ一座」 | 「紫の夜が明けるとき」 |
| <input type="checkbox"/> グループ「橋」 | 「給水塔」 |

- ① 共生のまち大津・演劇プロジェクトを何でお知りになりましたか？
- ・おおつ広報
 - ・チラシ
 - ・参加団体から
 - ✓ 知人から
 - ・その他 ()

② 演目について

◎=非常に良かった ○=良かった △=ふつう ▲=良くなかった

| 劇団 | 満足度 | ご意見・ご感想 |
|--|-----|---|
| <input type="checkbox"/> 劇団まちプロ一座 「紫の夜が明けるとき」 | ◎ | すごく良かったよ！ 感動した... 感動したよ 軽快な音楽もあって、子供にもある。本当に ダンスもあはるしかった！ |
| <input type="checkbox"/> グループ「橋」 「給水塔」 | ○ | ありがとうございました！ |

③ その他 (演劇祭全体についてのご感想やご要望など)

今後の公演情報などをご案内します。よろしければ下記にご記入ください

| | | |
|-----|----|-------------|
| お名前 | 住所 | 電話・メールアドレス等 |
|-----|----|-------------|

感想②

住所 大津市内 滋賀県内 () 市) 滋賀県外 () 市)

観劇した日及び演目

13日 14日

劇団「まちプロ一座」 「紫の夜が明けるとき」

グループ「橋」 「給水塔」

① 共生のまち大津・演劇プロジェクトを何でお知りになりましたか？

・おおつ広報 ・チラシ ・参加団体から ・知人から
 ・その他 ()

② 演目について

◎=非常に良かった ○=良かった △=ふつう ▲=良くなかった

| 劇団 | 満足度 | ご意見・ご感想 |
|---|-----|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 劇団まちプロ一座 「紫の夜が明けるとき」 | ○ | チャレンジされたことにより、息を吐き出し、おもしろい の抱える大変さは、小笠原さんの言葉が、心と心で伝わるように 移住の困難は、おもしろいことには、自分自身も、おもしろい 抱える問題は、見えない所には、あります。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> グループ「橋」 「給水塔」 | ◎ | それはストーリーだと思わなかった... 震災について、おもしろい... いいおもしろい |

③ その他 (演劇祭全体についてのご感想やご要望など)

中途障害者の日常 創作劇



自身の経験をベースに、中途障害者の日常を演じる井上さん（左から2人目、大津市で）

まちブロー座 団員の实话基に

県内の障害者らで作る劇団「まちブロー座」が、病気で体にマヒがのこった女性の日常や、健常者の夫と音楽を分かち合う姿を描いた新作「舞の夜が明けるとき」を大津市で上演した。メンバーの井上みどりさん(37)の体験をベースにした創作劇だ。「ありのままの日常を通じて、中途障害者に対する理解を広げたい」と主役を演じた井上さん。劇団は次回、来年1月29日に草津市で公演する。(生田ちひろ)

大津で上演 「けんかも現実、感謝大切」

大津市のスカイプラザ浜大津で13日あった初公演。喫茶店や自宅で友人と近況を語り合うといった主人公・みどりの日常は、夫との夫婦げんかで暗転する。みどりには脳梗塞の影響で、マヒと記憶障害があり、夫の助けを受けながら主に車いすで暮らす。「あなたがため思つきながら台所で洗い物しているの知ってる。しんどいんやろ」。夫は「そんなことない」と否定しつつ、転機を考えていることを明かす。「私(の介護)にかこつけているだけやん。私は仕事や生活を諦めたくないのに、僕がかて頑張ってるけど、しんどい」。いったん距離を置く二人だが、友人らに励まされ、改めて向き合う。みどりは「み出しなを担う夫の姿を『観えてる』と言って感謝を伝える。夫は「僕はみどりが忘れることを覚えている。それがいい」といたわる。終幕の時、会場は温かい拍手に包まれた。

このストーリーの大半は、実話だ。井上さんは42歳の時、自宅に引きこもったが、周囲の支えで徐々に前向きな気持ちを取り戻す。10年ほど前から大津市の介護事業所「まちがどプロシエクト」へリハビリなどで利用者らでつくる「まちブロー座」に出会った。一座は2003年の創設後、障害者の実像を伝える創作劇を毎年、上演してきた。昨年には初めて劇による中途障害者を取り上げ、本人が障害を受け入れるまでの奮闘を描いた。

「でも、受け入れた後の日常は、まだ描いていないよね」。そんな声が上がると、日々続いている劇中の「尊厳の共生」をテーマに今回、井上さんの体験談を脚本に練り上げた。

井上さんは「健常者の手を借りなければならぬ一方、介助者が時にはイライラし、けんかするのも現実。でも障害者にもできることはあり、感謝し合うことはとても大切。そんなことを劇を通じて感じてもらえれば」と話している。

草津公演は午後2時から市立草津アミカホールで。無料。問い合わせは主催のびわ湖芸術文化財団(077-523-7146)。